



梅津 政志 議員

問 公立刈田総合病院は構成する自治体の財政難に伴い厳しい経営に追い込まれているが現状は。

答 整形、麻酔科医師の退職とコロナ感染症による診察控えもあり赤字の増加が続いている。

問 山田管理者（白石市長）からは改選後に公設民営化を進める発言があったが、副管理者である町長の考えは。

答 みやぎ県南中核病院との連携を強化し、現在の運営形態のまま経営改善を進めていく。

問 公立刈田総合病院の運営について

答 持続可能な医療提供体制を確保していく

問 資金繰りに行き詰まり構成する市町に借り入れの要請があった場合の対応は。

答 再度の貸し付けに応じる考えはない。

問 病院議会の12月定例会に公設民営を進めるための条例制定を提案するとの話があるが。

答 この件については一切伺っていない。一市二町の組合であり、合議、合意の下で病院経営が進められるべきである。

問 白石市長の再選後に正副管理者会議の開催はあったか。また、その中の協議の内容は。

答 再選で民意を得たので協力をしてほしいとの要請があったが現時点では応じられないことを話した。



▲なないろひろば

問 第一期ふるさと創生総合戦略の最終評価は

答 目標を上回る事業の成果であった

問 ふるさと創生総合戦略の平成27年から令和元年度までの最終評価は。

答 5年間で若者の移住定住及び就労の場の確保に重点を置き事業を実施し、目標を大きく上回る事業の成果を得た。

問 湯原城は城郭史上、極めて重要な遺跡であり、今後の活用と保存は。

答 自然体験活動や歴史文化に関し、関係事業者や団体等と連携を取り活用を進める。

問 調査の推進、保存、城跡の散策など、町所有とするのが得策と考えるが。

答 保存の方法、規模さらに活用について土地の問題も含め総合的に検討する。

問 新型コロナウイルス感染症第3波への町の対策は

答 各施設に徹底した感染防止対策の指導を行う

問 白石からの通学バスの感染予防対策は行っているのか。

答 生徒のマスク着用を徹底し、生徒がバスを下りたら座席の除染を毎回徹底して行い、バスに空気清浄機を設置する計画である。

問 町内外の人が多く集まる町の委託施設においてコロナ感染症対策が足りないとと思うが、管理者として感染対策をもっと徹底させるべきではないか。

答 町内から感染者が出ないよう感染防止策をしっかりと指導していく。

問 町の診療所に発熱外来専用出入口を設置したが、感染の疑いの患者に対する対応はどのようにするか。

答 基本的には、当面はドライブスルー方式を採用し、発熱外来者にはイン

問 高熱が出てコロナ感染の疑いがあると連絡方法が完全に周知されていないと思われる。今後の対策は。

答 機会あるごとに繰り返しお伝えをし、町で訪問、ホームヘルパー、介護支援センターもしくは防災無線でも連絡方法を広報していきたい。

問 PCR検査を希望している町民に検査料を補助して、町民医療福祉対策を進めるべきではないか。

答 医師が必要と判断した方がPCR検査を確実に受けることができるよう取り組みを進めていく。



渡部 英幸 議員



▲診療所発熱外来入口



▲診療所発熱外来ベッド